

みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 16-3号

2016年3月23日(水)

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

第5回「子ども医療・・検討会」開催(3/22) 子ども医療費助成補助金減額見直し提言 「就学前」軸に減額廃止か、政府内で検討(中日新聞)

子ども医療費補助金減額見直しを提言
厚生労働省 厚生労働検討会
厚生労働省の有識者検討会は22日、子どもの医療費を独自に助成している自治体に対して国が行っている補助金の減額措置を見直すよう求める報告書をまとめた。子育て世帯の負担を軽減し、少子化対策につなげるのが狙い。

厚労省は対象年齢を限定した上で減額措置を一部廃止する方針で、五月に策定する「一億総活躍プラン」に方向性を盛り込む。減額措置廃止の対象範囲については、小学校入学前までの子どもへの助成を軸に検討しているが、財源確保が課題となるため、具体的には年末の予算編成で決める。

検討会は報告書で、自治体が子どもを対象に行っている医療費の助成が保護者の安心につながっていると評価した。ただ一方で、医療費負担が軽くなることで安易に病院に行く「コンビニ受診」などを防ぐための保護者の理解を促す取り組みも求めた。

2016.3.23
中日

3月23日付け中日新聞によると、厚生労働省の「子ども医療制度の在り方等に関する検討会」は22日5回目の会議を開き、子どもの医療費を独自に窓口無料化している自治体に対して国が行っている国保の国庫補助金の減額措置を見直すよう求める報告書をまとめた。

中日新聞によると、これらを受けて厚労省は対象年齢を限定した上で減額措置を一部廃止する方針で、5月に策定する「一億総活躍プラン」に方向性を盛り込む。減額措置廃止の対象範囲については、小学校入学前までの子どもへの助成を軸に検討しているが、財源確保が課題となるため、具体的には年末の予算編成で決める。と報道。

こうした国の政策動向を長野県当局がよく分析し、一刻早く子ども医療を始め福祉医療の窓口無料化実施に向けた政治決断を私たちは強く要望する。

福祉医療給付制度の改善をすすめる会年次総会

2016年度は窓口無料実現へ正念場の年、窓口無料化実現に向け、総会を成功させ、大きな県民運動を作り出そう！

日時：2016年5月21日(土) 13:00~16:00

場所：長野県高校教育会館 別館2階大会議室

(長野市県町593 TEL 026-237-8115) *駐車場が狭いため、公共交通機関の利用をミニ講演「障がい者が抱える実情を知り、医療費問題を考える」(仮題)

①精神障がい当事者会から ②ウイルス性肝炎患者会から

ミニ講演の後、年次総会を開催します。